大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る 事後調査報告書 (平成22年7月分)

大 阪 市 港 湾 局 大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

Ι	事	¥後調査	の概	要						
	1.	調査概	要		 	 	 	 	 	I - 1
	2.	工事の	実施	状況	 	 	 	 	 	I - 3
	3.	調査結	果の	概要	 	 	 	 	 	I - 4
Ι	事	¥後調査	結果							
	1.	大気質	<u> </u>		 	 	 	 	 	∏ − 1
	2.	水質			 	 	 	 	 	I I− 9



1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 22 年 7 月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要(平成22年7月)

環	境項目		調査項目	調査地点等	調査期間等
大気質	一般環境		二酸化硫黄(SO ₂)	1点	平成 22 年 7 月 1 日
			窒素酸化物(NO2,NO)	南港中央公園局	~31 ∃
			浮遊粒子状物質(SPM)		
			風向・風速		(通年連続)
水質	一般	項目	水素イオン濃度(pH)	5点(1~5)×2層	平成 22 年 7 月 6 日
			化学的酸素要求量(COD)	上層:海面下 1m	
			溶存酸素量(DO)	下層:海底面上2m	
			全窒素(T-N)、全燐(T-P)		
			透明度、水温、塩分、濁度、		
			浮遊物質量(SS)、クロロフィルa		(1回/月)
	埋立中		濁度、水温	放流水 1点	平成 22 年 7 月 1 日
			水素イオン濃度(pH)		~31 ∃
	中の濁		化学的酸素要求量(COD)		
	10		溶存酸素量(DO)		(連続測定)
	り等監視	流水	浮遊物質量(SS)	放流水 1点	平成 22 年 7 月 6、
	り等監視(廃棄物処分場周辺)放流水及び内水		不揮発性浮遊物質量(FSS)	内 水 1点	13、20、28 日
				(処理原水)	
					(1回/週)
			水素イオン濃度(pH)		平成 22 年 7 月 6 日
	辺		化学的酸素要求量(COD)		
			全窒素(T-N)		(1回/月)

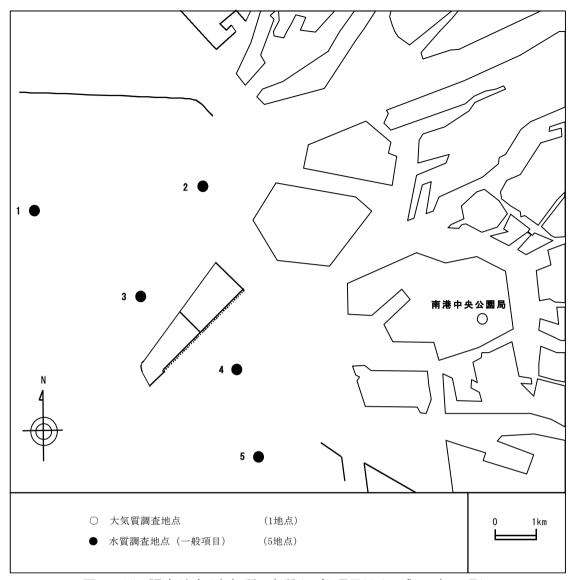


図-1(1) 調査地点(大気質、水質(一般項目))(平成22年7月)

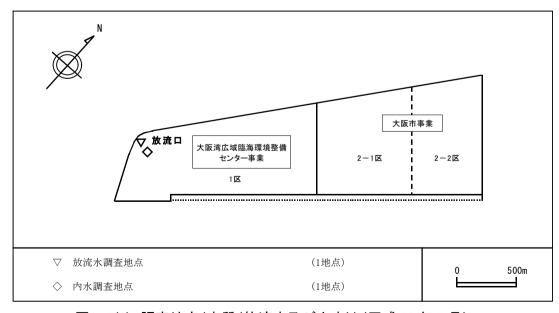
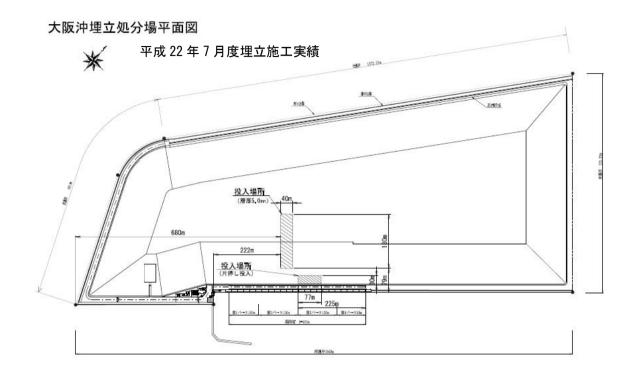


図-1(2) 調査地点(水質(放流水及び内水))(平成22年7月)

2. 工事の実施状況

平成 22 年 7 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量(㎡)	進捗率(%)
487,961	3.5

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m3

図-2 工事の実施状況 (平成22年7月)

3. 調査結果の概要

(1) 大気質

1) 二酸化硫黄 (SO₂)

二酸化硫黄 (SO_2) の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は0.009ppm、1時間値の最高値は0.018ppm であり、環境基準値(日平均値:0.04ppm、1時間値:0.1ppm)を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂)

二酸化窒素(NO_2)の月平均値は、0.019ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.031ppm であり、環境基準値(日平均値: $0.04\sim0.06ppm$ のゾーン内またはそれ以下)を下回っていた。

3) 浮游粒子状物質(SPM)

浮遊粒子状物質(SPM)の月平均値は、 $0.030 \, \mathrm{mg/m^3}$ であった。また、日平均値の最高値は $0.046 \, \mathrm{mg/m^3}$ 、1 時間値の最高値は $0.084 \, \mathrm{mg/m^3}$ であり、環境基準値(日平均値: $0.10 \, \mathrm{mg/m^3}$ 、1 時間値: $0.20 \, \mathrm{mg/m^3}$)を下回っていた。

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

(2) 水質(一般項目)

1) 水素イオン濃度 (pH)

水素イオン濃度 (pH) は上層で 7.9~8.6、下層で 7.8~8.1 の範囲にあり、上層では調査 地点 1、3、4 及び 5 において環境基準値(7.8 以上 8.3 以下)の上限値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (8.6)、調査地点 3 (8.4)、調査地点 4 (8.4)、調査地点 5 (8.4)であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、上層で $7.7\sim8.6$ であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量(COD)

化学的酸素要求量 (COD) は上層で $3.4\sim4.5$ mg /L、下層で $1.2\sim1.8$ mg /L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値 (3mg /L) を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1(4.5 mg/L)、調査地点 2(3.8 mg/L)、調査地点 3(3.8 mg/L)、調査地点 4(3.4 mg/L)、調査地点 5(3.5 mg/L)であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、上層で 1.6~4.9 mg/L(平均値:3.2 mg/L)であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響に

よるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量(DO)

溶存酸素量 (DO) は上層で $6.8\sim9.4~\mathrm{mg}$ /L、下層で $2.2\sim4.7\mathrm{mg}$ /L の範囲にあり、上層では全ての調査地点で環境基準値 ($5\mathrm{mg}$ /L) を満たしていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層における調査地点 1(2.2 mg/L)、調査地点 2(4.7 mg/L)、調査地点 3(3.7 mg/L)、調査地点 4(3.7 mg/L)、調査地点 5(4.3 mg/L)であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、下層で 0.6~11 mg/L(平均値:6.6 mg/L)であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N)

全窒素 (T-N) は上層で $0.52\sim0.92$ mg/L、下層で $0.32\sim0.47$ mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2、3、4 及び 5 において環境基準値 (0.6mg/L) を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.81 mg/L) 、調査地点 3 (0.79 mg/L) 、調査地点 4 (0.78 mg/L) 、調査地点 5 (0.92 mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、上層で $0.46 \sim 2.1 mg/L$ (平均値: 1.0 mg/L)であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P)

全燐 (T-P) は上層で $0.086\sim0.15$ mg/L、下層で $0.051\sim0.098$ mg/L の範囲にあり、上層、下層共に、全ての調査地点で環境基準値(0.05mg/L)を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1~(0.086 mg/L) 、調査地点 2~(0.15 mg/L) 、調査地点 3~(0.087 mg/L) 、調査地点 4~(0.086 mg/L) 、調査地点 5~(0.096 mg/L) 、下層における調査地点 1~(0.098 mg/L) 、調査地点 2~(0.051 mg/L) 、調査地点 3~(0.062 mg/L) 、調査地点 4~(0.070 mg/L) 、調査地点 5~(0.053 mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12~年度)は、上層で $0.021 \sim 0.15 mg/L$ (平均値:0.077 mg/L)、下層で $0.020 \sim 0.25 mg/L$ (平均値:0.045 mg/L)であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で $5\sim10$ 度(\dag オリン)、下層で報告下限値未満(<1 度(\dag オリン)) ~1 度(\dag オリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で $2\sim6$ mg/L、下層で $1\sim2$ mg/L の範囲であった。

8) 10071Na

(3) 水質(放流水及び内水)

1) 放流水(連続測定)

濁度は、0.3~3.7 度(カオリン) (平均値 1.1 度(カオリン)) の範囲であった。

水温は、 $24.3 \sim 29.0$ °C (平均値 26.8 °C) の範囲であった。

pH は、7.2~8.2 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値(5.0 以上 9.0 以下)の範囲内であった。

COD は、 $1.7\sim3.4$ mg/L(平均値 2.8mg/L)の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値(90mg/L)及び管理目標値(40mg/L)を下回っていた。

DO は、No.1 接触酸化槽において $7.7\sim9.6$ mg/L (平均値 8.9mg/L) 、No.2 接触酸化槽において $7.2\sim8.0$ mg/L (平均値 7.7mg/L) の範囲であった。

注:1. 水温は、分配槽の温度を測定。

2. DO については、測定計設置調整中のため、参考値として接触酸化槽での測定値を掲載。

2) 放流水、内水

①放流水

SS は、報告下限値未満(<1mg/L)~2.6mg/L(平均値 1.6mg/L)の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値(60mg/L)及び管理目標値(50mg/L)を下回っていた。

FSS は、全測定を通じて報告下限値未満(<1mg/L)であった。

pH は、8.2 であり、放流水の基準値の範囲内であった。

COD は、7.8mg/L であり、放流水の基準値(90mg/L)及び管理目標値(40mg/L)を下回っていた。

T-N は、1.3mg/L であり、放流水の基準値(120mg/L、日間平均 60mg/L)及び管理目標値(30mg/L)を下回っていた。

②内水

SS は、 $2.9\sim5.8$ mg /L(平均値 3.9mg/L)の範囲であった。 FSS は、 $1.0\sim1.7$ mg/L(平均値 1.3mg/L)の範囲であった。 pH は 8.8、COD は 7.9mg/L、T-N は 1.4mg/L であった。

《参考》

■環境基準値等(本報告関係分)

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄	1 時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、
(SO ₂)	1 時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの
(NO ₂)	ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、
(SPM)	1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2) 水質 (海域)

類型	項目	基準値
	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
В	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
ш	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
Ш	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

注:水素イオン濃度、化学的酸素要求量及び溶存酸素量の基準値は日間平均値、全窒素 及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 規制基準等

(1) 水質(一般項目·放流水)

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
型 最	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L
終 処	浮遊物質量 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L
分場	窒素含有量 (T-N)	120mg/L (目間平均60mg/L) 以下	30mg/L

注:放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を 定める省令別表第一より抜粋。

Ⅱ 事後調査結果

大気質測定結果総括表[平成22年7月分]

項	測 定 局	南港中央公園
_	有効測定日数(日)	31
酸	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0
化硫	測定時間数 (時間)	744
黄	1 時間値が0.1ppmを超えた時間数(時間)	0
	有効測定日数 (日)	31
_	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)	0
酸	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	0
化窒	測定時間数(時間)	741
素	1 時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間)	0
	1 時間値が0.2ppmを超えた時間数(時間)	0
浮	有効測定日数(日)	31
遊粒マ	日平均値が0.10mg/m³を超えた日数(日)	0
子状	測定時間数(時間)	741
物質	1 時間値が0.20mg/m³を超えた時間数 (時間)	0
	備考	

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果[平成22年7月分]

	測 定 局	南港中	央公園		
	項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)		
П	1 (木) 2 (金) 3 (土) 4 (日) 5 (月)	0. 007 0. 007 0. 003 0. 003 0. 006	0. 013 0. 012 0. 007 0. 006 0. 018		
	6 (火) 7 (水) 8 (木) 9 (金) 10 (土)	0. 008 0. 006 0. 006 0. 005 0. 007	0. 017 0. 017 0. 010 0. 008 0. 013		
пп	11 (日) 12 (月) 13 (火) 14 (水) 15 (木)	0. 003 0. 003 0. 003 0. 002 0. 004	0. 008 0. 009 0. 008 0. 003 0. 007		
別	16 (金) 17 (土) 18 (日) 19 (月) 20 (火)	0. 006 0. 006 0. 004 0. 005 0. 005	0. 011 0. 013 0. 006 0. 013 0. 008		
	21 (水) 22 (木) 23 (金) 24 (土) 25 (日)	0. 005 0. 005 0. 008 0. 009 0. 005	0. 014 0. 012 0. 013 0. 015 0. 011		
値	26 (月) 27 (火) 28 (水) 29 (木) 30 (金) 31 (土)	0. 006 0. 005 0. 004 0. 002 0. 004 0. 005	0. 017 0. 009 0. 006 0. 005 0. 010 0. 008		
	为 測 定 日 数 (日) 	3			
測	定時間(時間)	74			
月日平	平 均 値 (ppm) 均値の最高値 (ppm)		0.005		
-	間値の最高値 (ppm)		0. 009 0. 018		
_	間値が0.1ppmを超えた時間 (時間)	0			
日平 数	均値が0.04ppmを超えた日 (日)	()		

- 注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 - 2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果[平成22年7月分]

	測 定	局	南港中	央公園	
	項	目	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
П	1 (木) 2 (金) 3 (土) 4 (日) 5 (月)		0. 003 0. 012 0. 010 0. 002 0. 005	0. 020 0. 059 0. 036 0. 009 0. 015	
	6 (火) 7 (水) 8 (木) 9 (金) 10 (土)		0. 004 0. 004 0. 007 0. 011 0. 004	0. 022 0. 025 0. 024 0. 035 0. 023	
n.i	11 (日) 12 (月) 13 (火) 14 (水) 15 (木)		0. 002 0. 007 0. 012 0. 026 0. 017	0. 006 0. 030 0. 046 0. 063 0. 059	
別	16 (金) 17 (土) 18 (日) 19 (月) 20 (火)		0. 023 0. 011 0. 004 0. 005 0. 008	0. 080 0. 034 0. 010 0. 017 0. 019	
	21 (水) 22 (木) 23 (金) 24 (土) 25 (日)		0. 005 0. 003 0. 006 0. 003 0. 001	0. 022 0. 017 0. 033 0. 016 0. 005	
値	26 (月) 27 (火) 28 (水) 29 (木) 30 (金) 31 (土)		0. 003 0. 006 0. 005 0. 014 0. 009 0. 005	0. 023 0. 016 0. 016 0. 066 0. 047 0. 025	
有多	効測定日数	(日)	3		
測	定 時 間	(時間)	74	<u></u>	
月	平 均 値	(ppm)	0.008		
日平	均値の最高値	(ppm)	0.0)26	
1時	間値の最高値	(ppm)	0.0	080	

- 注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 - 2. 大気質の調査結果 (大阪市環境局による常時測定結果) は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果[平成22年7月分]

	測 定 局	南港中	南港中央公園		
	項目	日平均値 (ppm)	1 時間値の 最高値 (ppm)		
日	1 (木) 2 (金) 3 (土) 4 (日) 5 (月)	0. 021 0. 031 0. 022 0. 012 0. 026	0. 030 0. 050 0. 033 0. 023 0. 045		
	6 (火) 7 (水) 8 (木) 9 (金) 10 (土)	0. 024 0. 027 0. 030 0. 031 0. 023	0. 043 0. 053 0. 060 0. 044 0. 045		
別	11 (日) 12 (月) 13 (火) 14 (水) 15 (木)	0. 009 0. 012 0. 022 0. 015 0. 018	0. 023 0. 029 0. 036 0. 020 0. 029		
∆i)	16 (金) 17 (土) 18 (日) 19 (月) 20 (火)	0. 021 0. 018 0. 011 0. 011 0. 012	0. 042 0. 036 0. 017 0. 021 0. 017		
	21 (水) 22 (木) 23 (金) 24 (土) 25 (日)	0. 015 0. 019 0. 027 0. 022 0. 015	0. 044 0. 035 0. 046 0. 039 0. 029		
値	26 (月) 27 (火) 28 (水) 29 (木) 30 (金) 31 (十)	0. 018 0. 014 0. 014 0. 016 0. 019 0. 018	0. 042 0. 024 0. 023 0. 025 0. 028 0. 039		
有多	劝測定日数 (日)	3	1		
測	定 時 間 (時間)	74			
月	平均値 (ppm)	0. (
-	均値の最高値(ppm) 間値の最高値(ppm)	0. (
1 時	- 同他の最高値(ppm) - 間値が0.2ppmを超えた時間数 - 間)	0. 060 0			
-	間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の	0			
(日		0			
日平の日	均値が0.04ppm以上0.06ppm以下 数 (日)	()		

注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。 その場合、日平均値の集計の対象としない。

^{2.} 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果[平成22年7月分]

			南港中央公	園	
		日平	均値	_	
	項目	(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (木) 2 (金) 3 (土) 4 (日) 5 (月)	0. 025 0. 043 0. 032 0. 014 0. 031	86. 0 71. 7 69. 4 87. 0 83. 7	0. 049 0. 102 0. 069 0. 032 0. 057	
	6 (火) 7 (水) 8 (木) 9 (金) 10 (土)	0. 028 0. 031 0. 037 0. 043 0. 027	85. 3 86. 6 82. 0 73. 1 84. 4	0. 065 0. 078 0. 082 0. 068 0. 068	
別	11 (日) 12 (月) 13 (火) 14 (水) 15 (木)	0. 011 0. 019 0. 033 0. 041 0. 035	83. 7 63. 0 64. 9 36. 1 50. 9	0. 028 0. 045 0. 081 0. 083 0. 088	
נינ	16 (金) 17 (土) 18 (日) 19 (月) 20 (火)	0. 044 0. 030 0. 015 0. 015 0. 020	48. 6 62. 3 76. 0 69. 9 61. 7	0. 102 0. 070 0. 024 0. 038 0. 034	
	21 (水) 22 (木) 23 (金) 24 (土) 25 (日)	0. 019 0. 022 0. 033 0. 024 0. 017	76. 0 85. 8 82. 1 89. 1 91. 3	0. 057 0. 039 0. 064 0. 046 0. 033	
値	26 (月) 27 (火) 28 (水) 29 (木) 30 (金) 31 (土)	0. 021 0. 021 0. 019 0. 030 0. 028 0. 022	87. 6 69. 1 73. 8 52. 6 68. 8 79. 8	0. 065 0. 038 0. 039 0. 091 0. 067 0. 049	
有多	効測定日数 (日)		31		
測	定時間 (時間)		741		
月	平均値 (ppm)		0. 027		
	均値の最高値 (ppm)	0.044			
	F間値の最高値(ppm) E均値 NO ₂ /(NO+NO ₂)(%)		71. 6		

- 注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 - $2. NO_2/(NO+NO_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均值NO₂/(NO+NO₂)

=(N0及びNO2が同時測定されている時間の

NO2濃度の日(月)間にわたる総和)/

(NO及びNO2が同時測定されている時間の

N0+N02濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果[平成22年7月分]

	測 定 局	南港中	央公園		
	項目	日平均値 (mg/m³)	1 時間値の 最高値 (mg/m³)		
日	1 (木) 2 (金) 3 (土) 4 (日) 5 (月)	0. 028 0. 042 0. 043 0. 024 0. 028	0. 048 0. 059 0. 080 0. 038 0. 055		
	6 (火) 7 (水) 8 (木) 9 (金) 10 (土)	0. 046 0. 044 0. 039 0. 028 0. 033	0. 066 0. 070 0. 066 0. 069 0. 073		
	11 (日) 12 (月) 13 (火) 14 (水) 15 (木)	0. 026 0. 028 0. 026 0. 024 0. 021	0. 040 0. 049 0. 051 0. 044 0. 042		
別	16 (金) 17 (土) 18 (日) 19 (月) 20 (火)	0. 024 0. 022 0. 024 0. 025 0. 022	0. 044 0. 039 0. 044 0. 048 0. 048		
	21 (水) 22 (木) 23 (金) 24 (土) 25 (日)	0. 021 0. 029 0. 041 0. 038 0. 040	0. 043 0. 050 0. 084 0. 061 0. 060		
値	26 (月) 27 (火) 28 (水) 29 (木) 30 (金) 31 (土)	0. 046 0. 026 0. 020 0. 015 0. 019 0. 024	0. 071 0. 046 0. 034 0. 035 0. 052 0. 053		
-	动測定日数 (日)	31			
測	定時間(時間)	74			
月日亚	平 均 値 (mg/m³) 均値の最高値 (mg/m³)		0. 030 0. 046		
	間値の最高値 (mg/m³)		0.046		
	間値が0.20mg/m ³ を超えた	- 時 0			
日平 数	均値が0.10mg/m ³ を超えた (日)	0			

- 注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 - 2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

気象観測結果(風向・風速)[平成22年7月分]

	測 定 局			南港中央公園	
			風	速	最多
		平均		最大風速	風向
	項目	風速	風速	風向	
		(m/s)	(m/s)	16方位	16方位
日	1 (木) 2 (金) 3 (土) 4 (日) 5 (月)	1. 2 1. 0 1. 0 1. 3 1. 2	2. 1 2. 4 2. 0 2. 3 2. 7	W WNW SW WSW W	W W, WNW SW WSW W
	6 (火) 7 (水) 8 (木) 9 (金) 10 (土)	1. 1 1. 1 1. 4 1. 0 0. 9	2. 0 2. 7 3. 1 2. 5 2. 0	SW WSW W ESE W	SW, WSW WSW, W W WNW W, WNW
別	11 (日) 12 (月) 13 (火) 14 (水) 15 (木)	1. 7 2. 5 0. 9 1. 1 1. 2	3. 8 4. 9 1. 6 2. 9 5. 3	SSW SSW WSW, W S WNW	SSW SSW SSW ESE WNW
<i>D</i> ¹	16 (金) 17 (土) 18 (日) 19 (月) 20 (火)	0. 8 1. 2 1. 2 1. 5 1. 4	2. 1 2. 6 2. 7 3. 6 2. 9	WSW WSW W WSW WSW	WNW WNW WNW WNW
	21 (水) 22 (木) 23 (金) 24 (土) 25 (日)	1. 4 1. 3 1. 5 1. 3 1. 2	2. 6 3. 5 2. 6 2. 5 2. 7	WSW WSW WSW SW W	WSW WSW WSW W
値 	26 (月) 27 (火) 28 (水) 29 (木) 30 (金) 31 (土)	1. 7 1. 5 1. 4 1. 2 1. 2 1. 2	3. 6 3. 8 2. 9 2. 5 2. 0 2. 0	WSW W WSW ESE WSW, WNW WSW	W WNW SW W WNW WNW
測	定 時 間 (時間)		•	744	
月	平 均 風 速 (m/s)			1. 3	
月	最 大 風 速 (m/s)			5. 3	
月	最多風向(16方位)			WNW	

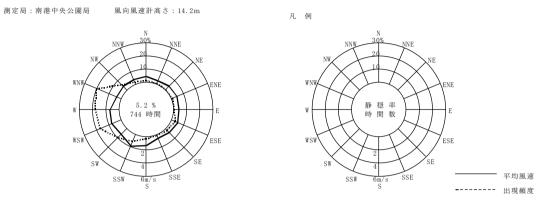
注:1.1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

^{2.} 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成22年7月分]

方位項目	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時 間数
度 数	6	8	10	8	26	15	9	15	47	73	130	136	153	44	12	13	39	744
頻 度 (%)	0.8	1. 1	1.3	1. 1	3. 5	2.0	1. 2	2. 0	6.3	9.8	17.5	18. 3	20. 6	5.9	1. 6	1. 7	5. 2	_
平均風速(m/s)	0.6	0.9	1.0	0. 9	1. 1	0.9	0.7	1.4	2.0	1. 3	1.6	1.4	0.8	0.9	0.8	0.9	0. 2	_

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風 配 図 [平成22年7月分]

水質様式第1号

水質調査結果(一般項目)

[平成22年7月分]

調査日:平成22年7月6日

							19.3		及22年7月	
項目	調査点	1	2	3	4	5	最小値	~	最大値	平均値
時刻	•	9:10	8:40	9:25	10:00	9:45		_		_
透明度	[m]	1.8	2.1	2. 0	2. 5	2.3	1. 8	\sim	2. 5	2. 1
水温		24. 6	24.2	23. 7	23. 9	24.0	23. 7	\sim	24.6	24. 1
	[%]	20.6	21.5	20.4	20.7	21.0	20. 4	\sim	21.5	20.8
塩分		13. 7	12.3	17. 9	20. 1	18.6	12. 3	\sim	20. 1	16. 5
	[-]	32. 1	31.9	32.2	32.5	31.6	31.6	\sim	32.5	32. 1
濁度		10	8	7	6	5	5	~	10	7
	度(カオリン)]	1	<1	1	<1	<1	<1	\sim	1	1
浮遊物質量	(SS)	6	5	5	2	3	2	\sim	6	4
	[mg/L]	2	1	1	2	1	1	\sim	2	1
水素イオン濃	捷度	8. 6	7.9	8. 4	8. 4	8.4	7. 9	~	8.6	-
(pH)	[-]	7. 9	7.8	8. 0	8. 1	8.0	7.8	\sim	8. 1	-
化学的酸素要	京求量	4. 5	3.8	3. 8	3. 4	3.5	3. 4	\sim	4.5	3.8
(COD)	[mg/L]	1. 7	1.8	1. 7	1.2	1.4	1. 2	\sim	1.8	1.6
	濃度	9. 4	6.8	6. 9	7.6	8.2	6.8	\sim	9.4	7.8
溶存酸素量	[mg/L]	2. 2	4.7	3. 7	3. 7	4.3	2. 2	\sim	4.7	3. 7
(DO)	飽和度	122	87	90	101	109	87	\sim	122	102
	[%]	30	64	50	50	58	30	\sim	64	50
全窒素		0. 52	0.81	0.79	0.78	0.92	0. 52	\sim	0.92	0.76
(T-N)	[mg/L]	0. 47	0.32	0.44	0.36	0.32	0.32	\sim	0.47	0.38
全燐		0. 086	0.15	0.087	0.086	0.096	0. 086	~	0.15	0.10
(T - P)	[mg/L]	0.098	0.051	0.062	0.070	0.053	0. 051	\sim	0.098	0.067
クロロフィル	~ a	59	19	26	23	29	19	\sim	59	31
(chl.a)	$[\mu \text{ g/L}]$	<1	<1	<1	<1	<1	<1	\sim	<1	<1

注)上段:上層(海面下1m) 下段:下層(海底面上2m)

特記事項			

水質様式第6号

水質調査結果(埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水(連続測定:総括)) [平成 22 年 7 月分]

	区分			放流水			
項目		最小値	~	最大値	平均値		
濁度	[度(カオリン)]	0.3	~	※ 3. 7	1. 1		
水温	[℃]	24.3	\sim	29.0	26.8		
рН	[-]	7. 2	\sim	8. 2	_		
COD	[mg/L]	1.7	\sim	3. 4	2.8		
DO (No. 1)	[mg/L]	7. 7	\sim	9.6	8. 9		
DO (No. 2)	[mg/L]	7. 2	\sim	8.0	7. 7		
特記事項		・水温は、	分配	槽の温度を	測定		
		・DOについ	いては、	、測定計設	置調整中の		
		ため、参	≱考値	として接触	酸化槽での		
		測定値を	2掲載。				
		※5,6日の濁度は、汚れの付着による					
		ものと思われ、2日連続で濁度計の					
		洗浄(こ	フラッ	シング)を	実施。		

水質様式第7号

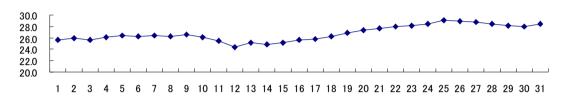
水質調査結果(埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水(連続測定))

[平成 22 年 7 月分]

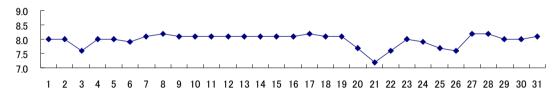
濁度[度(カオリン)]



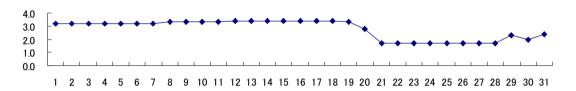
水温[℃]



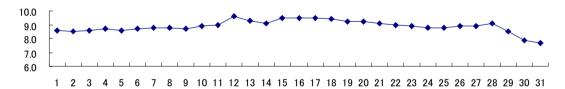
水素イオン濃度(pH)[-]



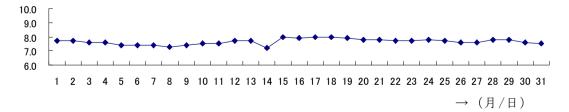
化学的酸素要求量(COD)[mg/L]



溶存酸素量(DO)[mg/L] No.1 接触酸化槽



溶存酸素量(DO)[mg/L] No.2 接触酸化槽



水質様式第8号

水質調査結果(埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水①) [平成22年7月分]

区分		放流水		内水			
項目		SS	FSS		SS	FSS	
調査日	時刻	[mg/L]	[mg/L]	時刻	[mg/L]	[mg/L]	
			[IIIg/L]		[IIIg/L]		
6 (火)	8:25	< 1	< 1	8:15	2.9	1. 2	
13 (火)	8:40	1.8	< 1	8:20	3.4	1. 4	
20 (火)	8:25	1. 1	< 1	8:15	3.3	1. 0	
28 (火)	8:30	2. 6	< 1	8:20	5.8	1. 7	
平均値	_	1. 6	< 1	_	3. 9	1. 3	
最小值	_	< 1	< 1	_	2. 9	1.0	
最大值	_	2. 6	< 1	_	5.8	1. 7	

特記事項			

水質様式第9号

水質調査結果(埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②) [平成22年7月分] 調査日:平成22年7月6日

区分項目	放流水	内水
時刻	8:25	8:15
рН[—]	8.2(21°C)	8.8(22℃)
COD[mg/L]	7.8	7.9
T-N[mg/L]	1.3	1.4

特記事項			